

第5学年 国語科学習指導案

指導者 5年1組 白川 治

1. 日時 平成27年5月29日(金)6校時(校内研) 6月10日(水)5校時(教育課程)

2. 場所 5年1組 教室

3. 単元名 様々な資料を読み、交流して考えを深めよう ～私たちの町川崎を考える～

4. 単元の目標

○様々な資料を読んで考えたことを発表しあい、それぞれ考えたことが、どのように共通していたり相違したりしているのかなどを明らかにしながら自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

指導事項「C読むこと」

イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。

オ 本や文章を読んで考えたことを発表しあい、自分の考えを広げたり深めたりすること。

言語活動

様々な資料を読んでこれからの川崎のあり方について考えたことを友達と交流し、自分の考えをもつ。

5. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
様々な資料を比べて読んだり、交流したりすることで様々な違いや共通性があることに気づき、進んで読もうとしたり交流を通して考えを深めようとしていたりしている。	新聞や雑誌、インターネットなどの様々なメディアを比べて読んだり、多読したりしながら自分の考えの根拠としている。(イ) 様々な資料を読んで、これからの川崎のあり方について考えたこと感じたことを発表しあい、意見交流を通して自分の考えを広げ、深めている。(オ)	文や文章には、書き手の伝えたいことによっていろいろな構成がされていることを理解している。イ(キ)

6. 児童の実態

(1)「読むこと」について

5年生になって国語の学習として物語文を2作品(『あめだま』『なまえつけてよ』)、交流タイムで新聞の記事やインターネットなどの文章をいくつか読んできた。それらの学習から見えてきたこととして、物語文での登場人物の気持ちや、心情の移り変わりに関しては比較的多くの児童が読み取れる。また、自分の考えの根拠を文章中の叙述から探し、「○○ということは、～ということ。」と自分なりに叙述を解釈し置き換えることができる。しかし、同じテーマに対して様々な書き方、様々な立場で書かれた文章に対しては、読み比べたり関連させて読んだりすることができず、多くの資料があっても限られた資料にしか目がいかない児童が多い。そのため、自分の考えの根拠となる資料が少なく説得力に欠け、質問されたり反対されたりしたときに答えられないことがある。また、物語と違い、新

聞の記事やコラムなど書き手の意図が大きく影響する文章や、事実を客観的に書いた文章に対しては読み取ることができてもそれに対して自分の考えをもつことができない児童が多い。

現在の読む力としては、全体的な傾向として物語のように叙述をもとに想像しながら自分なりに解釈していく読み方は得意だが、事実と意見の違いや、段落の意味、段落相互の関係についてはほとんど理解できず一人では読み取ることが難しい児童もいる。読む力についてはかなり個人差がある。

(2) 交流について

交流することが好きで「もっと交流したい。」という声が聞かれる。交流タイムでは時間が足りず、国語の時間を使って続きを行うこともある。

4月当初から交流することの良さやねらいについて説明し、交流タイムで「ミニミニフリートーク」という活動を行ってきた。はじめは自分の考えをもちやすいように2項対立になるような単純なテーマで交流し、段階を追って資料を読んでどう思ったかを交流するようにしてきた。意欲的に交流する児童が多く、基本的な話型も定着している。また、国語科の学習や他教科においても各単元で交流する時間を設けてきた。感想交流、意見交流、討論と、いくつかのパターンを何度も繰り返してきている。自分の考えを伝えることまではほとんどの児童ができる。さらに、話題を変えたり、友達の考えにつなげたり、質問しあったりできる児童も増えてきている。しかし、自分の考えを言うことで満足してしまったり、一つの考えに意見が集中しすぎてテーマから離れてしまったりという課題も見みられる。

(3) 抽出児童について

- A児 交流タイムや、国語の時間の交流では意欲的に発言する。様々な文章を比べながら共通点や相違点について考えた上で自分の考えをもつことができる。ただ、その考えを上手く伝えることができないことがある。交流の場面では友達の発言につなげたり質問したりすることもできる。
- B児 交流の時間では1回は発言しようという意欲は感じられる。また、友達の考えもしっかりと聞き、自分なりに思ったことを素直に反応する。ただ、考えがずれていたらどうしようという不安が大きく発言することに躊躇してしまうことがある。
- C児 文章を読み取る力が十分でないため、課題に対する自分の考えをもつことができない。そのため交流の時間もただ聞いているだけになってしまい、参加できずに終わってしまうことが多い。個別に指導し、考えをもつところから支援する必要がある。

7.テーマについて

(1) テーマのとらえ

高学年ブロックテーマ 自ら考え、伝え、学びあう子

高学年では、「友達の意見に関連付けながら話ができる子をめざしたい」「自分の考えをもち、伝え合いを通してその考えを再構築できる子をめざしたい」という願いをもち、本テーマを設定した。

具体的には、「Aさんの言うことを聞いていて、自分の考えが変わってきた。」「Bさんと自分の考えはここまでは共通しているけど、ここからは違う。」「Cさんの意見を聞いて、自分の考えが固まった。」というように、友達から影響を受けながら共に学び合う姿をめざしている。自分とは違う他者の考えを聞くことを通して、自分の考えを確かめたり深めたり、また、考え直したりしていることを自覚できるよう

にしていきたい。この力は日常生活や他教科、また人間関係を構築する際にも必要だと考えた。

(2) テーマにせまる手立て

高学年のブロックテーマ「自ら考え、伝え、学びあう子」に迫るためには、お互いが関わり合うことが大切であると考えた。自分の考えをもった上でお互いが関わり合うためには、そのためだけに単発で設定した単元や、授業形態だけの工夫では難しいと考え、「自分の考えをもつ」ことと「伝える」ことに慣れるために以下のような学習活動に取り組んできた。

〈日常活動の取り組み〉

I. 交流タイム

ミニミニフリートーク

ねらい 根拠を明確にし、自分の考えをもち、全体に伝えられるようにする。

4月当初は「学校を欠席した理由がペットが死んでしまったというものだった。賛成か反対か」「小学生に携帯電話は必要か」のように、それぞれが実体験や身近な生活の中から自分の考えをもちやすいテーマを設定し、3分間で自分の考えを書き全体で交流するという活動を行ってきた。初めは全員が考えをもてること、全体に伝えられることを意識して活動に取り組んだ。

資料を読んで交流

ねらい 自分の考えや感じたことをわかりやすく表現し、交流からそれぞれの感じ方の違い

に気づく

ミニミニフリートークの発展として行っている。同じテーマに対して違う立場で書かれた文章を読み、資料から自分の考えの根拠を見つけ交流するという活動。同じテーマであっても一人一人の考えにズレが生じ、さらに根拠とする資料にも違いが出てくるのでそれぞれの感じ方が違うことを実感できる。

II. 国語科の授業での交流活動

ねらい 交流することに慣れる。友達の考えを知り、自分の考えを深める。

どの単元においても、交流活動を必ず設定するようにした。以下にいくつかの例をあげる。

- ・『ふるさと』→表現から感じられる情景について全体交流する。
- ・『あめだま』→この作品のおもしろさはどこにあるかを全体交流する。
- ・『なまえつけてよ』→対人物は誰かを全体交流する。作品から伝わるテーマを全体交流する。
- ・『生き物は円柱形』→筆者の考えに対して自分の考えをもち、全体交流する。

III. 全体交流のための話型の揭示

ねらい 自分たちで話し合いを進めることで、交流の良さを実感する。

4月から何度も全体交流を行ってきた中で、子どもたちから出てきた言葉を拾い、教室に掲示している。全体で共有することで話し合いがスムーズに進むようになってきている。

例「だいぶ意見が出たようなので、質問にうつつでもいいですか」

「〇〇な意見が多いようですが、〇〇の立場の人たちの意見はどうですか」

「(質問に対して答えられない人がいたとき) 〇〇さんの代わりに答えます。」

「質問に対して答えがないので納得しているということでもいいですか」

「質問が出きったようなのですが、今出ている意見以外の考えの人はいますか」

「〇〇さんの考えをきいて、私も～だと思いました。」

など、感想交流の場面や、討論の場面など、それぞれの交流の目的によって使い分けられるようになってきている。

〈本単元での手立て〉

本単元では、様々な資料を読み、自分の考えをもったうえで交流し、さらに考えを深めていくために次のような手立てを考えた。

I. 自己評価表

ねらい 単元の見通しをもつ。

- 学習内容を確認する。 → 自分の学習目標を設定する → 学習活動 → ふりかえり（自己評価）をする という流れを毎時間行うことで、子どもたちが学習の見通しをもって取り組むことができる。
- 学習のゴール地点が分かることで、子どもたちの学習意欲が高まる。

II. 資料の工夫

ねらい 様々な立場の考えにふれることで、自分の考えをもったり、広げたりしやすくする。

○多文種

- ・保護者など家族のアンケート（生の声）
- ・新聞（記事）
- ・インタビュー
- ・インターネットからの資料
- ・グラフ

○提示の順番と内容

- ①川崎駅周辺の現在とこれからの姿を知る資料 これからの開発予定を知る資料
- ②再開発を進めるに至った経緯と保護者の考えを知る資料
- ③これからの川崎の第三者的な評価と開発のメリットとデメリットがわかる資料
- ④③で示した資料と関連する事柄の資料
- ⑤川崎市の鉄道開発に対する住民の考えが分かる資料
- ⑥開発に対して否定的な立場と、どの立場の根拠にもなり考えをゆさぶるための資料

III. 資料を読み取るための工夫

ねらい 資料から考えの根拠をもてるようにする。

- 分からない言葉を調べられるように、手元に辞書を置く。
- 考えの根拠となるところに線を引く。
- 線を引いたところをもとに、考えのメモを取る。
- 考えの根拠がどの資料のどの部分から分かるように、付箋を貼っておく。

IV. 交流を通して考えを深めるための工夫

ねらい 自分の考えを明らかにするとともに、友達の立場を知る。

- 1時間ごとに自分の考えをまとめ、立場を明らかにする。
- ネームカードを活用し、互いの立場を可視化する。



○交流の前には全員の考えを一覧にして配布する。

8、単元について

(1) 単元設定の理由

子どもたちに「生きてはたらく言葉の力をつけたい」という思いから本単元を設定した。子どもたちは教科書や本にふれることは多いが、新聞やアンケートの考察、またはパンフレットといった文章にふれることは少ない。しかし、日常の生活の中で必要になってくるのは、それらの文章を読み自分なりの考えをきちんともっていくことである。また、社会に出てからは多くの資料を読んだ上で自分の考えを問われる機会も多くなっていく。

本や文章を読んで考えたことを発表しあい、自分の考えを広げたり深めたりすること。C読むこと(オ)を扱う上で、子どもたちにとって身近であり考えにズレが生じ、話し合いたいという必要感が生まれるテーマを選びたかった。これまで交流タイムで「昔と今」を比べるような資料(「コンビニの24時間営業は必要か」「携帯が普及する前と普及したあとの生活」「地域に残すなら大型スーパーか商店街か」など)を読みどちらが良いかという交流を行ってきた。そこで今回の単元ではこれまでの交流タイムとも関連させて、この数年で大きく変化している川崎駅前や大師線の開発について取り上げることとした。川崎の再開発というテーマは保護者など、家族の生の声も資料となる。2015年夏には、川崎競馬場跡に大型商業施設が開業したり、今後数年の間に京急大師線が地下を走るようになっていたりするなど話題性も大きい。大師線を使い川崎駅前に買い物に行ったり、習い事にいったりしている児童も多い。子どもたちに身近な環境が大きく変わっていくということで自分事として課題に取り組めるとともに新聞やインターネット、川崎市から出ている広報誌など様々な文体で書かれた資料を用いて生きてはたらく読みの力を育むと考えた。単元設定の理由は上記のものだけでなく、自分たちが住む町がどのように変わっていくのか、川崎市がどのような考え方で街づくりを進めているかを知ることによって今後社会とつながりを持ちながら生活していく機会が増える子どもたちにとっては大きな意味があると考えたからである。

子どもたちに配布する様々な資料は、立場、考え方がそれぞれ異なり、比べながら読むことで考えがゆさぶられるものを選んだ。読み取ったことを中心に、自分の経験とつなげながら「自分なら～」という強い思いをもって交流に参加できると考える。

(2) 単元を通してつきたい力

4月当初から研究テーマを意識し、他者と関わる活動を多く取り入れてきた。ただ、テーマにせまる手立てで書いたように日常活動を中心に行ってきたため、指導や手だてが充分ではなかった。本単元では、4月から継続的に続けてきた活動を生かし、実生活に生きてはたらく言葉の力をつけたいと考えている。昨年度から積み上げてきている交流タイムなどの活動を生かし「書く」「話す・聞く」「読む」の力を総合的に使い、読みの交流を中心にそれぞれの力をより伸ばしたい。

本単元では、新聞記事やパンフレット、アンケートなど多くの資料を情報源にし、そこから多くの事実や考え方を読み取り自分の考えをもつ。その考えを友だちと交流することで、広げたり、ゆさぶられたり、深めたりしていく。本単元を通して、他者と関わることの大切さや、他者と関わることで得られる喜びも感じ取ってほしい。

9. 単元構成図

【研究テーマ】
伝え合いを通して 考えを深める子を育てる 授業づくり
～指導事項の明確化と言語活動の工夫を通して～

【高学年ブロックテーマ】
自ら考え、伝え、学びあう子

日常生活（読むことに関する部分）
○読書
○いくつかの資料を比べながら読む

日常生活（交流に関する部分）
交流タイム
○自分の考えをもちやすいテーマで交流する。
○資料を読んで自分の考えをもち交流する。

＜5年生になってから「読む」学習の中で中心にした指導事項＞
「ふるさと」
「あめだま」
（エ）登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。
「なまえつけてよ」
（エ）登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。
「生き物は円柱形」
（ウ）目的に応じて文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。
（オ）本や文章を読んで考えたことを発表しあい、自分の考えを広げたり深めたりすること。

＜国語科の学習の中での読みの交流＞
「ふるさと」
作品から感じたことや、想像したことを全体で交流する。
「あめだま」
作品の面白さはどこにあるかを考え全体で交流する。
「なまえつけてよ」
中心人物と対人物はだれかを考え、叙述から根拠を見つけ全体で交流する。
作品から伝わるメッセージは何かを全体で交流する。
「生き物は円柱形」
作者の考えに対して自分の考えをもち全体で交流する。

様々な資料を読み、交流して考えを深めよう
～私たちの町川崎を考える～
指導事項：イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。
オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。

次	時	【】評価規準と ☆評価方法	○学習活動と・予想される児童の反応	・指導上の留意点
一	1	<p>資料を比べながら読んで、自分の考えを広げている。</p> <p>【読】 ☆資料に引かれたライン。 どの資料のどの部分を根拠にしているかを明らかにしたまとめの文章。</p> <p>1～4の資料を読んで文や文章には、書き手の伝えたいことについていろいろな構成や、色々な表現の仕方がされていることを理解している。</p> <p>【言】 ☆資料1～資料4を読んでいるときの「これとこれは同じことを言っている」などのつぶやき。</p>	<p>○自己評価表をもとに本単元の学習内容について見通しをもつ。</p> <p>○本時の目標をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験から川崎の変化について考えを発表する。 ・資料を読んで自分の考えをしっかりともつ ・今日の学習でこれからの川崎について知り、次の交流に生かす。 <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 今後の川崎の開発に関して知り、自分の考えをもとう </div> <p>○川崎の開発について自分の知っていることや、大師線に乗ったこと川崎駅で見たことなどを思い出し、これからの川崎の開発について考えていることを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この間大師線に乗ったときに、大師線が地下鉄になるって書いてあった。 ・港町の駅がきれいになってる。 ・最近大きなマンションがたくさんできている。 ・京急の川崎も何か大きな建物が建っている。 ・お母さんが川崎は最近すごく変わったって言った。 ・競馬場の所にも大きな商業施設ができるらしいよ。 ・JRの川崎駅も工事していたよ。 <p>○今後の川崎駅や大師駅周辺の開発について書かれた資料を読み、今後の川崎の開発について自分の考えをもつ。</p> <p>資料1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前の踏切がなくなるんだ。いつも車が並んでいるし、危ないから良かった。 ・地下鉄になるってことは安全になるってことだね。 ・渋滞もなくなるってことだ。 ・バリアフリーになって誰でも使いやすくなるんだね。 ・新しい駅ができるんだ。 ・港町や鈴木町も場所が変わるみたい。 ・でもたくさんお金がかかりそうだね。 <p>資料2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大師線のホームの上に建物ができるんだ。 ・商業施設が入るって書いてあるからまた川崎に来る人が増えるかもしれないね。 ・ホテルも入るみたいだよ、羽田が近いからかな。 ・京急の駅前にはダイスもあるのにまた商業施設ができるんだ。 ・でもすごく便利になるね。大師線も便利になるし京急も便利になるから大師線で川崎大師に来る人が増えるんじゃないかな。 <p>資料3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎競馬場に商業施設ができるんだ。そういえば、ずっと工事しているよね。 ・でも入る店はドラッグストアと衣料品、スーパーだからヨーカドーと変わらないんじゃないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本単元の見通しをもち、目的意識をもって学習に取り組めるように単元のオリエンテーションを行う。 ・本時の学習内容に合った、具体的な目標を立てるように声をかける。 <p>・児童の関心を引き出すために、生活に近い題材を扱う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の川崎の開発について考えがもてるよう、資料1～資料4を配布する。二次以降、自分の考えを持つ際の根拠としても活用していく。 <p>(資料1.京浜急行大師線連続立体交差の工事について 川崎市、京浜急行電鉄株式会社 住民説明会資料から引用)</p> <p>(資料2.京急川崎駅 「京急川崎駅前ビル計画」)</p> <p>(資料3.A朝日新聞2013、4月4日朝刊29ページ「川崎競馬場跡に商業施設」 Bカナロコ神奈川新聞社「川崎競馬場3号スタンドの跡地に商業施設建設へ、来場者増を期待」)</p> <p>(資料4.A朝日新聞2012、11月20日朝刊29ページ「川崎駅北口通路工事委託93.5億円」 B川崎市 川崎駅北口自由通路等整備事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初に資料を教師が範読する。 ・わからない言葉を調べるために辞

		<p>やない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの住んでいるところにも人が多くなるのかな。 ・でもヨーカドーぐらいなら遠くから来る人はあまりいないのかもね。 ・でもまた渋滞が増えるんじゃない。 <p>資料4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北口をつくるのに 93.5 億円もかかるんだって。 ・京急川崎と近くなるんだ。すごく便利になるね。 ・でも「少し」近くなるって書いてあるよ。93.5 億もかけて「少し」しか近くならないんだ。 ・改札って9機しか増えないんだ。 ・駅の中にもまた商業施設だって。川崎は商業施設だらけだね。 ・川崎駅がきれいになって便利になるのはうれしいよね。 ・やっぱり利用者が増えていくね。 <p>資料1～4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どれも今の暮らしよりも便利になるってことがわかる。やっぱり開発って大事。 ・大師線が地下になることで安全な街に暮らせるし、商業施設ができることで便利になる。僕たちにとってもすごく良いことだと思う。 ・どんどん便利になっていくのはいいことだと思うけど、別に今の暮らしが不便だとは思わないな。 ・川崎に人がどんどん来るっていうのは、いいことなのかな。良くないこともありそうだな。 ・全部含めたらどれくらいお金がかかるんだろう。そんなにいいことなのかな。 ・交流タイムでも話したけど、良いこともあるけどその裏にはなにか良くないこともあるような気がするな。 <p>○本時の振り返りをし、今の自分の立場を「今の川崎で良い」「今後も開発を進めていくべきだ」のどちらかに表わす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料から考えたことを次の交流に生かす。 ・資料1～4を比べてわかったことがあった。 ・資料1～4には共通する部分があるのがわかった。 	<p>書を用意しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み進められない児童に対しては、個別に指導する。 ・自分の考えの根拠となる所や、影響を受けた部分に赤マーカー、納得できない、疑問に思う所に黄マーカーで線を引く。(赤と黄色がない場合は各自で色を設定する) ・これまで交流タイムで行ってきた形で自分の考えをまとめる。自分の考えの根拠となりそうなものは赤い紙に、反論されそう、立場はちがうけど一部賛成できる場所もあるというものは黄色い紙に書く。
2		<p>本時の目標</p> <p>根拠を明らかにしながら資料をもとに考えたことを友達と交流し、自分の考えを広げることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己評価表をもとに本時の学習内容を知り本時の目標をたてる。 ・考えたことを根拠を示してわかりやすく説明する。 ・友達の考えをしっかりと聞いて考えを広げる。 <p>今後の川崎の開発について考えたことを交流しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容に合った、具体的な目標を立てるように声をかける。
	資料を読ん	○資料 から考えたことをもとに交流する。	

で、川崎駅の再開発について考えたこと感じたことを発表しあい、質問や意見交流を通して自分の考えを広げている。【読】

☆資料に引かれたライン。
どの資料のどの部分を根拠にしているかを明らかにした発言。
交流後の振り返り。

- 私は、川崎の開発を今後も進めていくべきだと思います。すべての資料から言えることなのですがどれも暮らしが良くなったり便利になったりするので開発は進めていったほうが良いと思います。
- 私も、開発を進めていくべきという立場です。私はよく自転車で買い物にいったりするのですが、大師線の踏切が危ないと感じます。資料1にあるように踏切がなくなれば踏切事故のない安心な街になると思うからです。
- 私は、川崎は今ままで良いと思います。なぜなら今私は不便だと思うことはないし、今ままで十分便利だからです。資料2～4ではどれも商業施設ができると書いてあります。商業施設ばかりできても仕方ないと思うからです。
- 私も、今の川崎で良いという立場です。資料4には北口通路建設は93.5億円かかるとかいてありました。でも京急川崎は少ししか近くなりません。そんなにお金をかけるべきではないと思います。
- 私も今ままで良いと思います。すべての資料から便利になることはわかりました。ただ、交流タイムのコンビニの資料にあるように便利になればなるほど環境にはよくないということもあります。また、その資料には多くの人が環境に配慮すべきと言っていました。私もそう思うからです。
- 今ままで良いという人に質問ですが、では商業施設ができて使いませんか？使うならば、やっぱりあったらあったで便利になって良いことがたくさんあるのだと思います。
- でも大師線が地下になったり、競馬場の跡地に商業施設ができたなら工事なども増えて危険なことがおおくなるように思います。実際メルシャンの跡地にマンションが建つことで工事車両が多くて怖いと思ったことがあります。
- 開発すべきという人に質問です。今の暮らしの中で不便だと感じていることはありますか？あるとしたら、それは資料にあるような開発で解決されるのですか？
- 私の親は車をよく使うのですが、ラゾーナの渋滞でいつも困っています。踏切がなくなることで渋滞がなくなるのであれば解決されると思います。

- 本時の活動を振り返る。
 - 開発を進めていくという立場の人の考えを聞いてメリットのほうが多いと感じた。でもデメリットはどんなものがあるのか気になる。
 - 今でも不便ではない。という考えを聞いて確かにそうだなと思った。なんでこんなに開発を進めているのだろう。
 - 川崎に昔から住んでいる人や、川崎駅周辺にう住んでいる人たちはどう思っているのかが知りたくなった。
 - もう少し開発することで良くなることや、良くないことなどについてわかる資料が読

- 交流の際には、討論のように賛成、反対ではなく、それぞれの考えを受け止めながら聞くように声かけをする。
- 交流を通して自分の考えが変わったときには随時ホワイトボードの立場を張り替える。

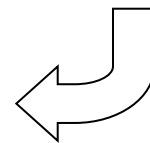
本時の視点

本時の交流は単元のはじめの交流であり、資料も川崎の開発について事実が述べられたものしか読んでいない。本時では、自分の経験や資料に書いてあることをつなげながら考えを発表し合い、考えを広げていきたい。資料を根拠にして発言しているか、交流を通して考えを広げているかを見ていただきたい。

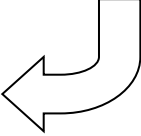
本時で期待される抽出児の姿

- A 自分の考えを友達の考えと比べながら聞き、質問をしたり交流全体の流れをつくったりしてほしい。
- B 読みが浅い部分があるので、交流を通して、考えをひろげてほしい。また、素直に思ったことを反応することができるので、「確かに」「そういうことか」などの反応で同じ立場の人の考えにも影響を与えてほしい。
- C 資料の読み取りの部分ではなかなか考えを持つことができないので交流で自分の考えをもてるようにしてほしい。

- 次時の資料へとつながる振り返りを意図的に取り上げる。



		みたい。	
二	3	<p>○自己評価表をもとに、本時の学習内容を知り本時の目標をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料をきちんと読み取って川崎のことについて考えを広げる。 ・資料を比べながら読んで、共通点や相違点を見つける。 ・読み取ったことを自分の考えに生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容に合った、具体的な目標を立てるように声をかける。
川崎の再開発の経緯や現状を知り、様々な資料から自分の考えをもとう			
	<p>資料を比べながら読んで、自分の考えを広げている。</p> <p>【読】 ☆資料に引かれたライン。</p> <p>どの資料のどの部分を根拠にしているかを明らかにしたまとめの文章。</p> <p>自分の立場を明らかにした表の動き。</p>	<p>○再開発の意味や川崎が開発を進めるに至った経緯についての資料を読み、最初の自分の立場を表に表わす。</p> <p>○それぞれの立場について書かれた資料を読み、自分の考えを広げたり深めたりする。その考えをまとめる。</p> <p>資料 5 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎の開発が始まったのは、工場があった場所がなくなったからなんだ。 ・川崎の開発はやっぱり川崎市民のためなんだね。 ・ラゾーナは、市と土地の権利を持っている人との話し合いで決まったんだ。 ・ <p>資料 6 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛成派の人たちの考えには、どれも町が活性化していくと書かれている。 ・反対派の考えの人たちが、今でも商業施設はたくさんあると書いている。私もその通りだと思う。なぜなら、川崎駅にはラゾーナや、ダイス、アトレと大きな商業施設がたくさんある。今でも十分便利。 ・賛成している人の中にもデメリットをあげている人が多い。でもそれ以上に川崎の収入が増えるってことはいいことなのかな。 ・この間の交流タイムでもやったけど、開発が進むと商店街がすたれていくっていうのも事実だよ。昔は商店街が活気づいていたと書いてある。 ・人がたくさん増えたことで変わってきてしまったこともあるんだね。 <p>○本時の学習を振り返り、表に自分の立場を張り替える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私はやっぱり開発に賛成という立場です。なぜなら資料6のアンケートから保護者の方たちはほとんどが賛成をしている。つまり住民は賛成している人が多いということ。川崎に住んでいる人が喜ぶなら開発を進めるべきだと思う。 ・私は開発に反対だったけど賛成の考えに移りました。なぜなら、資料5に開発を始めるまでの経緯が書いてあって、川崎市民のために開発しているということを知ったから。資料6にもあったけどデメリットはみんなでどうにかしていくしかないと思う。 ・私は今のままの川崎で良いと思います。開発は川崎市民のためとあったけど、全ての人が賛成しているわけではない。しかも、 	<ul style="list-style-type: none"> ・再開発の意味や川崎が開発を進めるに至った経緯を知るために資料5, 6を配布する。 ・最初に資料を教師が範読する。 ・わからない言葉を調べるために辞書を用意しておく。 ・読み進められない児童に対しては、個別に指導する。 <p>(資料5 川崎市町づくり局市街地整備推進課 金高さんインタビューより)</p> <p>(資料6 保護者アンケート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えの根拠となる所や、影響を受けた部分に赤マーカー、納得できない、疑問に思う所に黄マーカーで線を引く。 ・これまで交流タイムで行ってきた形で自分の考えをまとめる。自分の考えの根拠となりそうなのは赤い紙に、反論されるところもあるというものは黄色い紙に書く。

		<p>商店街がすたれていったり、お年寄りが便利だと思えない開発を進めるべきではないと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は賛成の立場だったけど、このままで良いかもしれないという考えに少し動いた。前回の交流では出ていなかったデメリットが多く知れた。資料5にも住民の人の反対の考えが書かれている。 ・川崎市民は開発に賛成している人が多いみたいだけど、<u>川崎市に住んでいない人にとっては川崎ってどうなんだろう。</u> ・<u>資料6に土日は渋滞が多くて駅に行きたくないって書いてあったけど、うちのお父さんも同じことを言っていた。あれはラゾーナとかのせいなのかな。</u> ・<u>資料6の中で出ているデメリットって本当にあるのかな。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の資料へとつながる振り返りを意図的に取り上げる。 
4	<p>資料を比べながら読んで、自分の考えを広げている。</p> <p>【読】 ☆資料に引かれたライン。 どの資料のどの部分を根拠にしているかを明らかにしたまとめの文章。 自分の立場を明らかにした表の動き。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自己評価表をもとに、本時の学習内容を知り本時の目標をたてる。 ・前回の読みとりで疑問に思ったことや、もっと知りたいと思ったことがあるので今日の資料で確認する。 ・今の自分の考えをもっと強くするようなところを資料から探す。 ・違う立場の考えに対して反論できるようにその部分の根拠も考えられるようにする。 ○それぞれの立場について書かれた資料を読み、自分の考えを広げたり深めたりする。その考えを200字程度でまとめる。 <p>資料 7について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎の人気は上がってきているんだ。これはやっぱり開発のおかげなのかな。 ・川崎は人気の街になっているけど、川崎市民がどう思っているかが大切で、人気になってもしょうがないのでは。 ・前の時間の資料6にもあったけど、人が増えると川崎の収入が増える。ということは人気の街になれば川崎が豊かになるということ。 ・資料5にあったけど、市民のための開発なのに人が増えすぎるのはどうなんだろう。デメリットもでてくると思うな。 <p>資料 8について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やっぱり川崎市民の多くが川崎が良くなったと感じている。資料6の保護者アンケートとつながる部分がある。 ・開発を進めることで200億円のメリットがあると書いてある。ということは、資料6にあった学校や保育園の問題も解決できるのではないかな。 ・訪問が増えたといい割合は54パーセント。ということは、あまり変わっていないひとも46パーセントいる。半分近くは増えていない。 ・最初の交流で出ていた環境問題や渋滞に関してはやっぱり否定的な意見が多い。 <p>資料 9について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型商業施設とタワーマンションで西口と 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの考えがズレてくるように、それぞれの立場を肯定的にかかれた資料とメリットとデメリットがしめされた資料を配布する。 <p>(資料7 朝日新聞 2014年9月4日朝刊 28ページ「人気の街川崎5位」)</p> <p>(資料8 日本経済新聞地方経済面 2013年7月11日「川崎駅前『良くなった8割』」)</p> <p>(資料9 「大型商業施設とタワーマンションの組み合わせメリットデメリット」)</p> <p>(資料10 各都市統計表 地域社会の現状と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えの根拠となる所や、影響を受けた部分に赤マーカー、納得できない、疑問に思う所に黄マーカーで線を引く。 ・これまで交流タイムで行ってきた形で自分の考えをまとめる。自分の考えの根拠となりそうなものは赤い紙に、反論されそう、立場はちがうけど一部賛成できる場所もあるというものは黄色い紙に書く。 ・最初に資料を教師が範読する。 ・わからない言葉を調べるために辞書を用意しておく。

		<p>同じ感じだね。確かにラゾーナ渋滞すごい。資料6にもそのことについて言っている意見があったな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「騒がしく危険な場所に」とある。もともと川崎に住んでいた住民にとっては迷惑。でもマンションに住んでいる人も川崎市民になるしどうなんだろう。 ・近くに大きなマンションがあればたくさん人が住むということ。ということは、車を使って遠くから来る人は多少減る。資料8の環境問題については多少解決されるかな。 <p>資料 10について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確か交流タイムで「商店街か大型スーパーか」をやったとき1990年ころから商店街がすたれ始めたって書いてあった。資料5にも川崎の開発が始まったのは1990年ころって書いてあった。犯罪も1990年から増えている。これは関係あるのではないかな。 ・交通事故も犯罪も1990年頃急に増え始めているやっぱり開発が始まると人口が増え犯罪や交通事故も増えていくんだ。 <p>○本時の学習を振り返り、表に自分の立場を張り替える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの考えの根拠となるようなことがたくさん出てきた。やっぱり思うことがあった。やはり開発は進めるべきだ。確かにデメリットもたくさんあるけど、お金がなければ何も解決できない。200億のメリットは大きいと思う。 ・私は賛成の立場から、現状でいいという立場に変わった。お金があるといいのは確かだけど、お金では解決できないデメリットがたくさんあった。資料8、資料9、資料10の三つにはデメリットもあって、川崎市民のためのと考えるとやっぱりそのデメリットは大きい。 ・私はやっぱり今の川崎のままでいいと思う。今でも十分便利だしたくさん人も来ている。資料10の犯罪件数が増えているのを見るとこれ以上開発を進めれば事故も犯罪も増え続けるのが目に見えている。 ・私は開発をしたほうが良いかもしれないという考えに傾いてきた。私は最初の交流で環境問題が1番のデメリットだと思っていたけど、資料9をみると多少なりとも改善できることがわかる。今のままでは何も変わらないから開発はしてもいいのかもしれない。 ・駅前や商業施設については良くわかったけど、大視線についての考えがあまりない。<u>他の資料も見たい。</u> ・<u>資料7に人気の町5位とあったけど、今の川崎の人口ってどれくらいあって、どのくらい増えてきているのかな。本当に人口が増えているから犯罪や交通事故も増えているのかな。</u> ・<u>ここまでの資料で自分の考えをもつことはできたけど、一度友達の考えも聞いてみたいな。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み進められない児童に対しては、個別に指導する。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが早く書き終わった児童は周りの人と自分の考えについて交流する。 ・自分がどの立場の考えなのかがわかるように表を用意し、本時が終わった時点での自分の立場を明らかにしておく。また、自分の考えの根拠がどの資料のどの部分からなのかがわかるように付箋をはっておく。 <ul style="list-style-type: none"> ・次時の資料へとつながる振り返りを意図的に取り上げる。 
--	--	---	--

5	<p>資料を読んで、川崎駅の再開発について考えたこと感じたことを発表しあい、質問や意見交流を通して自分の考えを広げている。【読】</p> <p>☆資料に引かれたライン。 どの資料のどの部分を根拠にしているかを明らかにした発言。 交流後の振り返り。</p>	<p>○自己評価表をもとに、本時の学習内容を知り本時の目標をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで読んでき資料から考えたことを1度整理する。 ・友達の考えを聞いて新しい情報を取り入れる。 ・友達の根拠を自分の考えに取り入れる。 	
<p>これまでの自分の考えをグループ交流でさらに広げ、深めよう。</p>			
		<p>○資料から考えたことをもとにグループで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料8は川崎駅が良くなったということが書かれているけど、最後のほうには課題も書いてあるよ。 ・確かに。一概に良くなったとは言えないかもしれない。資料6の保護者アンケートにも同じようなことが書いてあった。 ・資料9は、川崎西口の状況と同じだよ。しかも資料5にはミューザの裏にまた商業施設ができるって書いてあった。そうするとメリットよりデメリットのほうが大きくなりそうだね。 ・開発することで川崎が人気になってきたのが資料7からわかる。でも、これは市民以外の意見でしょ。開発は市民のためって資料5にあったよ。住民の考えのほうが大切なんじゃないの。 ・資料10の川崎の犯罪件数と交通事故の数って両方とも1990年あたりから急に増えだしたよね。これは何か意味があるのかな。 ・確か資料5に1998年から西口の開発が始まったって書いてあったよ。開発を進めることでやっぱり犯罪や交通事故は増えるんだよ。 <p>○本時の学習を振り返り、表に自分の立場を張り替える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までよく意味がわからないでいたことが交流することでよくわかった。自分の考えの新たな根拠になった。 ・友達の考えを聞いて自分の考えを持つことができた。次の時間の資料にもつなげていきたい。 ・今まで資料を読んできて自分の考えをもっていたけど、交流をして反論されたときに何も答えられなかった。どう反論されるかも考えていきたい。 ・今までの資料の読み取りが友達に話すことで整理できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この時間の交流は、これまでの自分の考えを一度整理すること、資料から読み取った情報を共有することをねらいとする。同時に、考えがもてずにいる児童はこの交流で考えをもてるようにする。 ・全員の考えを把握し、こちらが意図的にグループを編成する。
6		<p>○自己評価表をもとに、本時の学習内容を知り本時の目標をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい資料から自分の考えをさらに広げる。 ・大師線の地下化についても自分の考えをもつ。 ・これまでの考えをさらに強くするための根拠を文章中からぬきだす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容に合った、具体的な目標を立てるように声をかける。
<p>さらに資料を読み、自分の考えを広げ、深めよう。</p>			

資料を比べながら読んで、自分の考えを広げている。

【読】

☆資料に引かれたライン。

どの資料のどの部分を根拠にしているかを明らかにしたまとめの文章。

自分の立場を明らかにした表の動き。

○続けて資料を読み、考えを広げる。その考えをまとめる。

資料11について

- ・川崎市営地下鉄の案もあったけど結局だめになってしまっている。もしかしたら大師線も予定が変わる可能性があるってことかな。
- ・予定していてもできなくなることもあるんだね。
- ・田園都市線沿線のひとが川崎方面へアクセスを望んでいたのかとある。資料5にあったように住民の意見というより市の考えでやっているのかもしれない。

資料12について

- ・新駅ができてあまり利用しないという考えが書かれている。資料1に大師線も新しい駅ができると書いてあった。新しい駅ができて利用する人がいないなら莫大な費用をかけてつくる意味はない。
- ・市の費用負担が心配と書かれている。これまでの資料からもそうとうお金がかかっていることが分かる。本当に市民のためになっているのかな。
- ・川崎区の中だけみてもやっぱりかなり人口が増えてきているということがわかる。だからこそ新しい駅をつくる必要があるんじゃないかな。
- ・交通網を整備するのは渋滞を減らすため。渋滞が減るということは環境にも良いことだし、商業施設を利用する人も楽になる。

資料13について

- ・鉄道網の発達に加え、駅周辺の開発が評価されて人口が増えているとある。やっぱり大師線の地下化を進めることでこれからも人が増えるということ、これは川崎の開発は良いことと言える。
- ・資料8で川崎駅前良くなったと川崎市民の8割の人たちが言っている。今回の資料では今川崎に住んでいない人たちも川崎に魅力を感じているということが分かる。市民も市外の人たちも川崎を住みやすい町と思っているのは開発があったからこそ。今後も開発を進めていけばきっともっと良い町になる。
- ・資料10にあったように開発が進みだして人が増えたから犯罪が増えた。これ以上開発が進みすぎたらきっと川崎の犯罪はきっともっと増えていく。これでは確かに住みやすいのかもしれないけど安心して住む事が出来なくなる。

○本時の学習を振り返り、表に自分の立場を張り替える。

- ・開発を進めるという立場は今回も変わらなかった。資料11や12は鉄道の開発に対して否定的な考えだったけど、資料13ではそのおかげで人口が増え評価されていると書かれている。意見としては否定的なものもあるけど、川崎市が評価されて人口が増えているのは事実。やっぱり開発を進めていくべきだと思う。
- ・現状で良いのではという考えに少し寄って

- ・それぞれの立場について根拠をもてるような資料を配布する。また、どの立場で書かれているのか、違う立場として読んだ時にどういうことがいえるかなども意識して読めるようにする。

(資料11 朝日新聞2013年4月20日 「川崎駅前に念願の信号駅ビルとルフロンの間の市道」)

(資料12 朝日新聞2015年4月6日朝刊27ページ「新しい駅利用する?」)

(資料13 毎日新聞2015年4月18日地方版25ページ「川崎市：人口146万6444人 政令市で7位 増加率は1位、暮らしやすさが評価」)

- ・最初に資料を教師が範読する。
- ・わからない言葉を調べるために辞書を用意しておく。
- ・読み進められない児童に対しては、個別に指導する。
- ・自分の考えの根拠となる所や、影響を受けた部分に赤マーカー、納得できない、疑問に思う所に黄マーカーで線を引く。
- ・これまで交流タイムで行ってきた形で自分の考えをまとめる。自分の考えの根拠となりそうなものは赤い紙に、反論されそう、立場はちがうけど一部賛成できるところもあるというものは黄色い紙に書く。

- ・今までの資料や、自分の考えをふまえて今日の資料を読んだ自分の考えを整理するよう伝える。
- ・本時が終わった時点での自分の立場を明らかにしておく。また、自分の考えの根拠がどの資料のどの部分からなのかがわかるように付箋をはっておく。

		<p>きた。確かに便利になるのかもしれないけど本当にそれを望んでいる人たちがたくさんいるのかどうかはわからないということが、資料11や12からわかった。資料5で市民のための開発と言っているのにそれでは本当に市民のための開発かどうかわからなくなってしまった。</p> <ul style="list-style-type: none"> • やっぱ現状のままでいいと思う。エスパの近くにも駅ができるなんて今回初めて知った。でも川崎駅につながっていないなら利用する人は少ないだろうし、大師線も宮前に駅ができるってあったけど川崎駅まですぐ近くなのにあえて新しい駅をつくるのはお金の無駄だと思う。 • 今後の川崎に開発は必要ないと思っていたけど、これまでの資料を読み返すと川崎の開発を評価している意見は多いし、今年の4月の時点で人口が増えてきていて2030年には152万になると書いてある。今後の開発があるからこそ川崎の人口が増えていくということだから開発を進めていくほうが良いと思う。 • 資料12にあったけど、新しい駅をつくるっていうのは何らかのメリットがあるということ、大師線も宮前に新しい駅ができるということはなにかあるはず。<u>東口についてはあまり開発されていないけど、東口はどうなのだろう。</u> • <u>川崎駅周辺や川崎区</u>についてはわかってきたけど、市民のための開発なら川崎市全体に関わってくるはず。<u>川崎市全体ではどうなっているんだろう。</u> 	
7	<p>資料を比べながら読んで、自分の考えを広げている。</p> <p>【読】 ☆資料に引かれたライン。 どの資料のどの部分を根拠にしているかを明らかにしたまとめの文章。 自分の立場を明らかにした表の動き。</p>	<p>○自己評価表をもとに、本時の学習内容を知り本時の目標をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次の時間は交流なので自分の考えを今回でさらに深める。 • 自分の考えをまとめて次の時間に違う立場の人たちにしっかり伝えられるようにする。 <p>○続けて資料を読み、考えを広げる。その考えをまとめる。</p> <p>資料14について</p> <ul style="list-style-type: none"> • さいか屋は今までずっと川崎にあったのにラゾーナができてから客を取られてしまったんだ。交流タイムでやった大型スーパーと商店街の話に似ている。 • 開発を進めることで今まであったものがなくなっていくという可能性があるんだ。 • 資料5にもあったけど、やっぱり年配の人たちは昔からあるものを大切にしたいと思っているということがわかる。 • 市民のための開発なら若い人たちのためだけでなくすべての年代の人たちにとって良い開発でなくてはいけないはず。 <p>資料15について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 道路優先の区画整理で商店街が消滅しそうとある。資料14にもつながるけど、やっぱり大きな店がどんどんできていくと。昔からあるお店はやっていけなくなるのかもしれない。 • 交流タイムでやってきた資料とかさなる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 本時の学習内容に合った、具体的な目標を立てるように声をかける。 <ul style="list-style-type: none"> • 考えを揺さぶるために、あえて開発に対して否定的な記事を配布する。また、どの立場でも根拠になるような記事を配布する。 <p>(資料14 朝日新聞2014年4月11日朝刊27ページ「さいか屋川崎店来年5月に閉店」)</p> <p>(資料15 朝日新聞2012年9月5日朝刊29ページ「川崎駅東口周辺街づくり考える」)</p> <p>(資料16 川崎市都市計画公聴会公述意見の要旨と市の考え方 H24、4)</p> <p>(資料17 朝日新聞2013年9月12日朝刊29ページ「2拠点急成長 光と陰」)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最初に資料を教師が範読する。 • わからない言葉を調べるために辞書を用意しておく。 • 読み進められない児童に対しては、

		<p>大型スーパーと商店街の問題は川崎でもおきているんだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 川崎の商店街が抱える問題が次々と提起されたって書いてある。やっぱりこのまま開発が進めばどんどん商店街はなくなっていくのだろうな。 <p>資料16について</p> <ul style="list-style-type: none"> ラゾーナの一人勝ちと書いてある。今の時点でこれだけラゾーナに人が来ているならこれ以上商業施設はいらない。この住民の意見は資料9のデメリットを裏付けするものになる。 高いビルがたくさんできることでビル風が起るんだ。近隣の住民は迷惑しているんだね。 確かに駅前はたくさん良いものができて賑わっていても町が寂れていっては意味がない。大師線の地下化や開発によって歴史ある大師周辺の町並みもこわれていってしまうかもしれない。 バスやタクシーの公共交通機関が込み合ってしまう。と書いてある。だからこそ鉄道の開発が必要になってくるんだよね。 <p>資料17について</p> <ul style="list-style-type: none"> 胸をはって川崎に住んでいる市民が増えたと書いてある。今の時点でやっぱり十分なのだと思う。 ラゾーナは大型商業施設で日本1の売上なんだ。これ以上商業施設を増やしてどうするんだろう。やっぱり今のままでいい気がするな。 川崎や武蔵小杉は栄えてきているけど、人口が減って閑散としているところもあるんだ。同じ川崎でも地域によって差が出ているんだ。 ミューザ川崎ができたことで川崎のイメージは良くなったんだ。 <p>○本時の学習を振り返り、表に自分の立場を張り替える。</p> <ul style="list-style-type: none"> やはり今回の資料を読んでも開発を進めるべきではないという立場は変わらなかった。資料17には「光と陰」とある。川崎市民のための開発なのに「陰」ができてしまったのは本末転倒だと思う。 今後の川崎の開発はやっぱり進めていくべきだと思う。デメリットが出てくるのは当然だと思うけど。これまでの資料からメリットがそれ以上に大きいことが分かる。 開発を進めるべきという立場から、やめたほうが良いという立場に変わった。今まで川崎駅周辺のことしかみていなかったけど川崎市全体で考えたときには良くないところも出てきている。市民のための開発だから格差がうまれてはいけないと思う。 	<p>個別に指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えの根拠となる所や、影響を受けた部分に赤マーカー、納得できない、疑問に思う所に黄マーカーで線を引く。 これまで交流タイムで行ってきた形で自分の考えをまとめる。自分の考えの根拠となりそうなものは赤い紙に、反論されそう、立場はちがうけど一部賛成できるところもあるというものは黄色い紙に書く。 <p>・今までの資料や、自分の考えをふまえて今日の資料を読んだ自分の考えを整理するよう伝える。</p> <p>・本時が終わった時点での自分の立場を明らかにしておく。また、自分の考えの根拠がどの資料のどの部分からなのかがわかるように付箋をはっておく。</p>
8		<p>○自己評価表をもとに、本時の学習内容を知り本時の目標をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> もう一度資料を読み直して自分の考えの根拠となるところを確認する。 質問される場所もあるだろうから、答えられるように資料を確認する。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの交流で質問されたところや疑問に思ったところをもう一度確認する。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> これまでの資料を読み直し、自分の考えを整理しよう </div>		
<p>資料を比べながら読んで、自分の考えを広げている。</p> <p>【読】 ☆共通点や相違点を意識しながら並び変えたこれまで書きためてきた自分の考え。どの資料のどの部分を根拠にしているかを明らかにしたまとめの文章。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○次回の交流に備えて、今までの資料を整理し、自分の考えをもう1度確認する。 ・今までの資料を読み返していると、自分の考えの根拠となる資料がたくさんある。 ・自分の考えの中で1番強い根拠になるのはどれかを考えよう。 ・きっと、質問されるところがあると思うから、その質問に対してもどうやって答えればいいかを考えておこう。 ・ふせんが貼ってあるところをもう一度確認して自分の考えを深めよう。 ○本時の学習を振り返り、表に自分の立場を張り替える。 ・これまでの資料をふりかえってもやっぱり今後も開発を進めるべきだと思う。確かにデメリットもあるとは思いますが、この何年かで確実に川崎は良くなってきているし、開発を進めることでさらに良くなるのが期待できる。 ・今の川崎のままで良いと思う。これまでに十分開発されているし現状でもかなり評価を受けている。これ以上商業施設を増やしたり、新しい駅をつくったりする必要はないと思う。 ・まだ迷っている部分がある。今までの資料で開発について考えてきたけど、メリットやデメリットがあって、今の段階ではどちらのほうが良いと言い切れない。交流で自分の考えを固めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの資料や、考えの変化をふまえて自分の考えを整理するよう伝える。 ・ ・本時が終わった時点での自分の立場を明らかにしておく。また、自分の考えの根拠がどの資料のどの部分からなのかがわかるように付箋をはっておく。
9 本時	<p>本時の目標</p> <p>本時までには資料から読み取ったことをもとに、根拠を明らかにしながら自分の考えを伝えることができる。また、それぞれ考えたことにどのような共通点、相違点があるのかを明らかにしながら自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ○自己評価表をもとに、本時の学習内容を知り本時の目標をたてる。 ・みんなの考えから自分の考えを深め固める。 ・自分の考えの根拠をしっかりと伝える。 ・なるべく多くの人の考えを聞いて自分の考えと比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容に合った、具体的な目標を立てるように声をかける。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 今後の川崎の開発について、今自分がもっている考えを話し合い、さらに考えを深め最終的な考えを作り上げよう。 </div>		
<p>今までの資料を読んで、今後の川崎について考えたことを発表しあい、質問や意見交流を通して自</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでに読みとってきたことをもとに今後の川崎の開発について話し合う。 ・私は今の川崎のままで良いという立場です。なぜなら今までの資料を見ていくとほとんどの資料にもデメリットが書いてあります。でもメリットが書いていない資料はたくさんあります。これは、開発していくことで生じるデメリットのほうが大きいとい 	<ul style="list-style-type: none"> ・本単元のねらいをもう1度確認する。 ・あらかじめ全員の考えを把握しておく。 ・交流の際には、討論のように賛成、反対ではなく、それぞれの考えを受け止めながら聞くように声かけをする。

分の考えを広げ、深めている。【読】

☆資料に引かれたライン。
どの資料のどの部分を根拠にしているかを明らかにした発言。及び友達の考えに対する質問。
本時の振り返りの内容と自分の立場を明らかにした表の動き。

様々な資料を比べて読んだり、交流したりすることで様々な違いや共通性があることに気づき、進んで読もうとしたり交流を通して考えを深めようとしていたりしている。【関】

☆自分の考えを伝えようとしている姿。
友達の考えを資料を見たり、メモをしながらかこうとしている姿。
交流を終えての振り返りの記述。

うことが言えるのだと思います。

- ・私は今後開発を進めていくべきという立場です。なぜなら、開発を進めてきたことで今の住みよい川崎ができています。資料5、6、8を見るとその開発について肯定的に思っている人が多いし、川崎市民が良いと思っているのだから開発は進めて行くべきなんだろう。
- ・でも、開発を進めていくことで生じるデメリットもたくさんある。確かに肯定的な考えの人がたくさんいるのはわかるのだけど、資料16にあるように近隣の人たちは迷惑しているのも事実だし、交流タイムでもやったし、資料14や15にもあるように今まであったものがなくなっていくのも事実。得する人と損する人がいるような開発って本当にいいのかな。
- ・デメリットもあるけど、開発をすすめることで川崎の評価が上がっているのは確かだしなによりも便利になるっていうのはうれしいこと。商業施設が増えれば川崎の収入が増えて今起きている問題にもお金を使えるようになる。お金がなければ今ある問題を何も解決できないよ。
- ・資料13と資料7からは、川崎が人気になってきていることが分かる。でもこれは川崎市民の意見ではなくて川崎市外のひとの意見。資料5にあるように開発は川崎市民のためのもものだから、川崎市民にとって良いかどうか大切。そうすると犯罪が増えるとか、交通事故が増えるっていうデメリットは大きい。今の川崎でも十分便利なんだからこれ以上の開発は必要ない。
- ・確かに資料13と7は川崎市民以外の意見だけど、人口が増えていっているのは事実。デメリットもあるけど収入が増えれば問題も解決できる。
- ・でも資料6にあるように急激に人口が増えすぎて学校や保育園が足りていないのも事実だよ。
- ・今の川崎でも十分便利だし、不便だと思うことはない。資料1にあるように渋滞を解消するために大師線を地下化するのにさらに商業施設をふやしたら結局また渋滞が起こる。今の現状で止めておけばこれ以上の渋滞やデメリットはでてこないのだからこのままで良いと思う。
- ・これまでの資料や、自分で調べたことなのだけど開発にかかる費用を全部足していくとすごい金額になってしまう。確かに収入は増えていくのかも知れないし評価もあがるけど、お金を使う地域が集中しすぎている。資料17にあるように北部は閑散としているとある。これ以上川崎駅周辺などにお金をかけるとさらに地域によって格差が広がっていくのではないと思う。だから現状でやめておいたほうが良い。
- ・これからも開発を進めていくべきだという立場だったけど、みんなの考えを聞いて考えが変わった。これまではメリットばかり見ていたけど、デメリットに注目するとメリットよりも大きい気がする。メリッ

- ・自分の考えを伝えるときには根拠を明らかにして話すように伝える。
- ・基本的には自由発言で交流を進めていくが、話題がそれたときや、あらかじめ把握しておいた考えを意図的に発表させたいときには教師が交流をとめ、指名する。

本時を見ていただく際の視点

- ・読みの交流が主となる時間なので、自分の考えの根拠を明らかにして話しているか。
- ・質問する場合も、資料の文章を根拠にして質問を考えているか。
- ・友達の考えと自分の考えを比べたり、友達の考えを自分の考えのさらなる根拠にしたりしているか。

本時で期待される抽出児の姿

A
B
C

別紙参照

		<p>トを増やすよりも、デメリットを減らすほうが良いと思うようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の川崎で良いと思っていたけど、今の川崎があるのは開発を進めてきたからということがわかった。確かに今あるものがなくなっていくこともあるかもしれないけど、今よりさらに良くするためには仕方のないことのような気がする。川崎がどんどん便利になってたくさん人が来るようになれば資料17にあったように川崎に住んでいることを誇れるようになる。 <p>○本時の学習を振り返り、表に自分の立場を張り替える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の交流で同じ資料でも違う考え方をしている人の考えを聞いて自分の考えがさらに深まって、市長への手紙に書くことが固まった。 ・交流を通して考えが変わることはなかったけど、みんなの考えを聞いてさらに自分の考えに自信がもてた。自分の考えの根拠も増えたので次の時間にしっかり手紙でまとめていきたい。 ・立場の違う人の考えにも「たしかに」と納得する部分がたくさんあった。その部分についてもしっかりと考えて手紙にまとめていきたい。 ・今日の交流の中で、初めて気づくことがたくさんあった。今まで資料を読んできたけど、読み取り方によってどちらにもとれることがあるんだと思った。友達の影響から自分の考えがさらに広がって、固まってきたので次回の市長への手紙に生かしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時が終わった時点での自分の立場を明らかにしておく。交流を通して自分の考えがどうなったのかをかけるように声かけをする。また、ワークシートを工夫する。 	
三	8・9	<p>○自己評価表をもとに、本時の学習内容を知り本時の目標をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回までに固めた自分の考えをわかりやすくまとめる。 ・根拠を挙げながら自分の考えをまとめる。 ・構成を考えて自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容に合った、具体的な目標を立てるように声をかける。 	
		<p>自分の考えをまとめ、市長への手紙を書く。</p>		
		<p>文や文章には、書き手の伝えたいことによっていろいろな構成や、色々な表現の仕方があることを理解している。その上で自分の伝えたいことに合った文種や構成を選んでいく。</p> <p>【言】 ☆考えをまとめた文章。</p> <p>様々な資料を比べて読ん</p>	<p>○これまでの資料を見直し、自分の考えを市長に伝えるために手紙にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は川崎駅周辺の開発について今後も進めていってほしいと考えています。なぜなら～ ・私は川崎駅や大師線の開発はこれ以上進めていってほしくないと考えています。なぜなら～ <p>○書いた作品を読みあい交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○さんの書き方は、メリットとデメリットが比べられていてとてもわかりやすく書かれていました。 ・私の書き方と比べると、同じ根拠なのにいくつかの資料をあげて書いてあって説得力がありました。 ・○○さんはメリットよりデメリットが大きい理由を根拠も示しながら書かれていてとてもわかりやすかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙の基本的な書き方を確認する。 ・文章の種類は、自分の考えが伝わりやすい書き方を選ぶように伝える。

	<p>だり、交流したりすることで様々な違いや共通性があることに気づき進んで自分の考えを書こうとしている。</p> <p>【読】 ☆単元の振り返りの文章。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんの文章を読んで、自分の文章に付け加えたいところが出てきた。 <p>○単元の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の単元で、いくつかの文章を比べながら読むことができるようになりました。違うことが書いてあるように思っても、実はつながっていたり、同じことを書いているようでも実は違うことを言っていたりすることがあるということを知ることができました。 ・この単元で自分の考えを伝え、友達の考えと比べながら聞く力がつきました。交流をして今まで気づかなかったことや、違うとらえ方があることを知りました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この単元でどんな力がついたのかを問い、日常化につながるように声をかける。
--	---	--	---

事後

市長への手紙は、区担当の先生に送り教育長経由で市長へ渡していただきます。川崎市の財務調整課の方からは手紙に対してお返事をいただけるということをお聞きしているため、お返事をいただいたらまたその内容を読んで交流できたらと思っています。学年で取り組んでいる研究なので、学年掲示板などに掲示してクラスだけでなく学年全体でふせん等での交流もしていきたいです。